

参考資料5

平成24年2月14日

北海道開発局

評価軸ごとの評価を行う 新規利水対策案の概要

新規利水対策案の概要 サンルダム

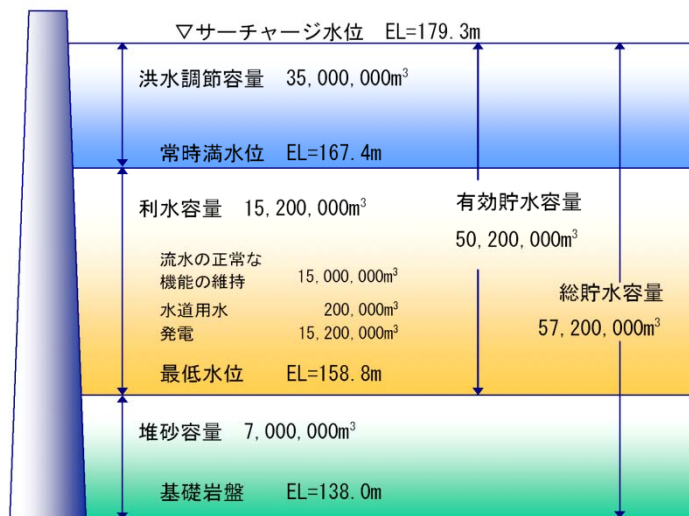
サンルダムにより、必要な開発量を確保する。



位置	下川町北町地先
ダム形式	台形CSGダム
堤体積	49.5万m ³
総貯水容量	5,720万m ³



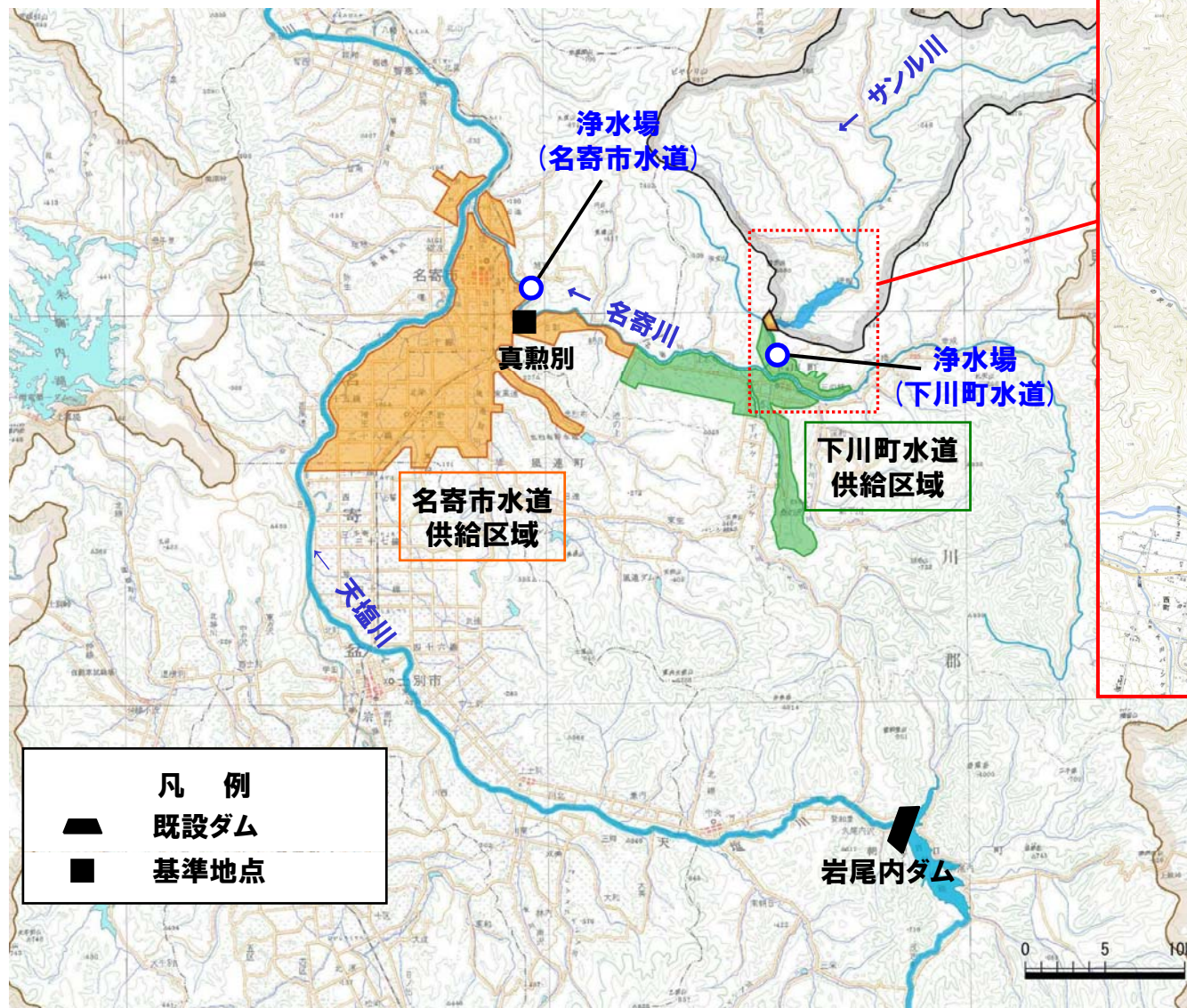
容量配分図



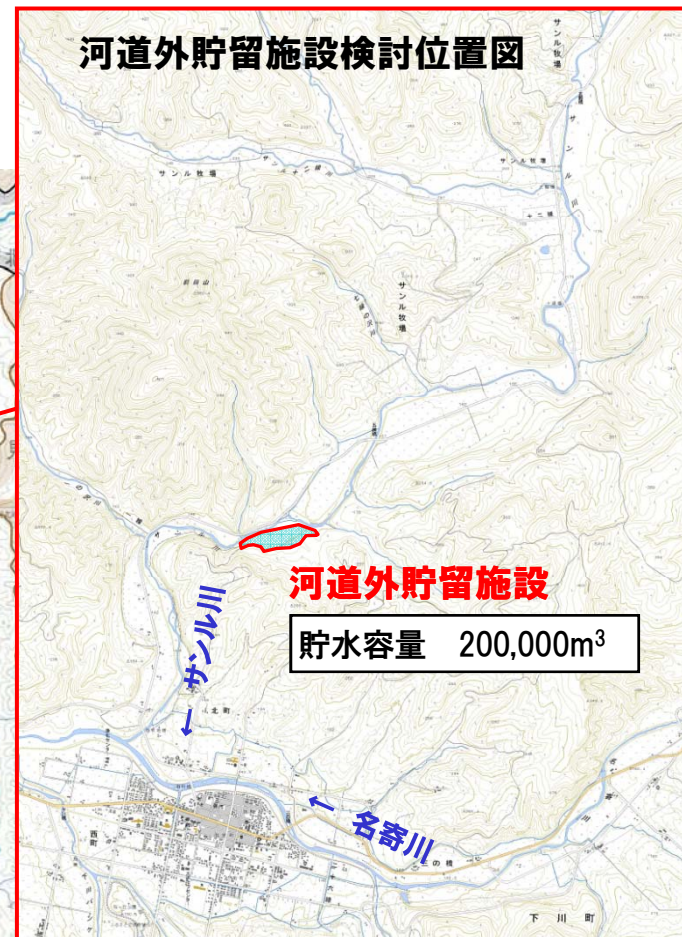
新規利水対策案の概要

河道外貯留施設

サンルダム事業区域内のサンル川沿いに河道外貯留施設を建設し、必要な開発量を確保する。

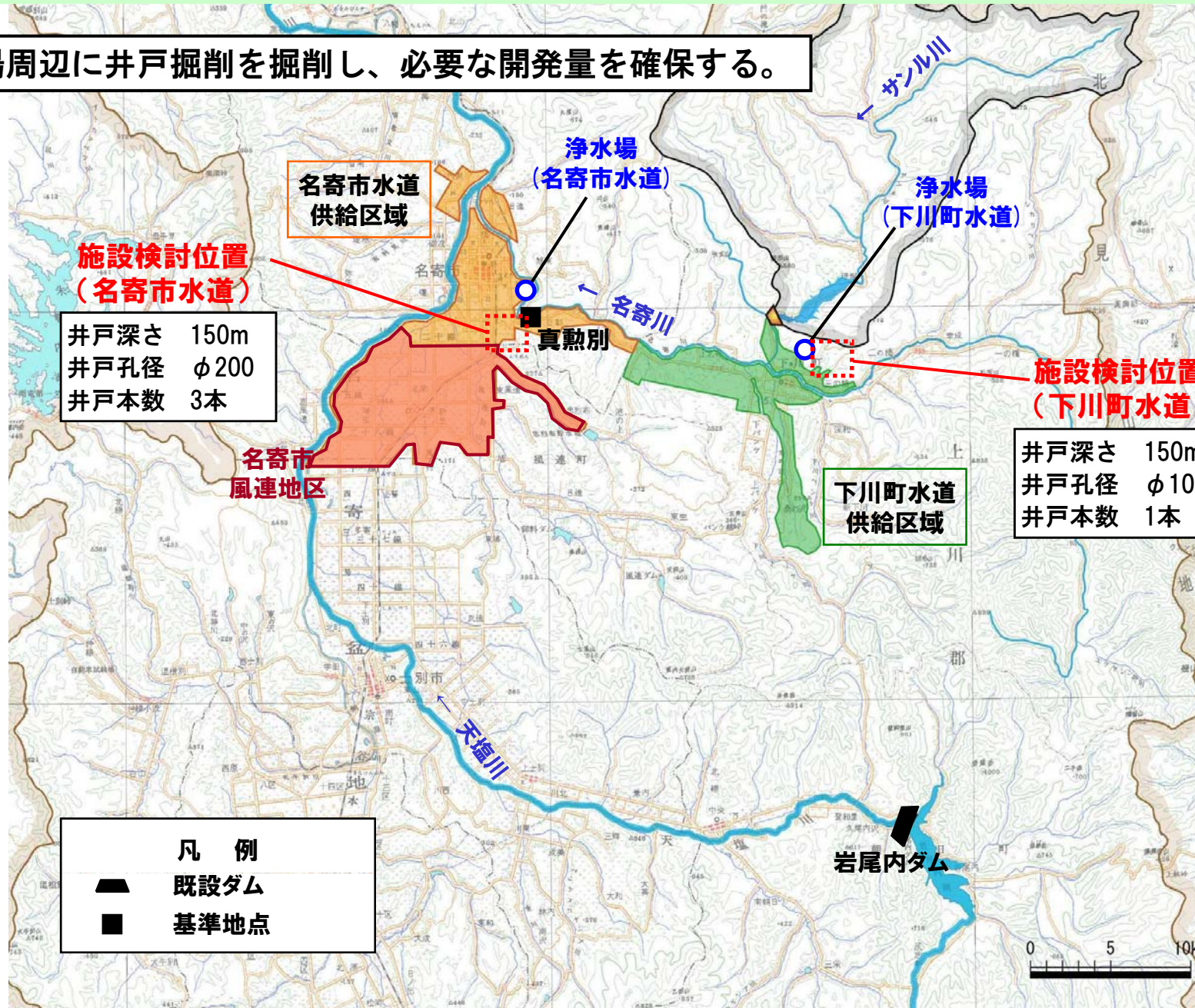


河道外貯留施設検討位置図



新規利水対策案の概要 地下水取水(新設)

浄水場周辺に井戸掘削を掘削し、必要な開発量を確保する。



**施設検討位置
(名寄市水道)**

井戸深さ 150m
井戸孔径 φ200
井戸本数 3本

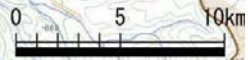
**施設検討位置
(下川町水道)**

井戸深さ 150m
井戸孔径 φ100
井戸本数 1本

凡例

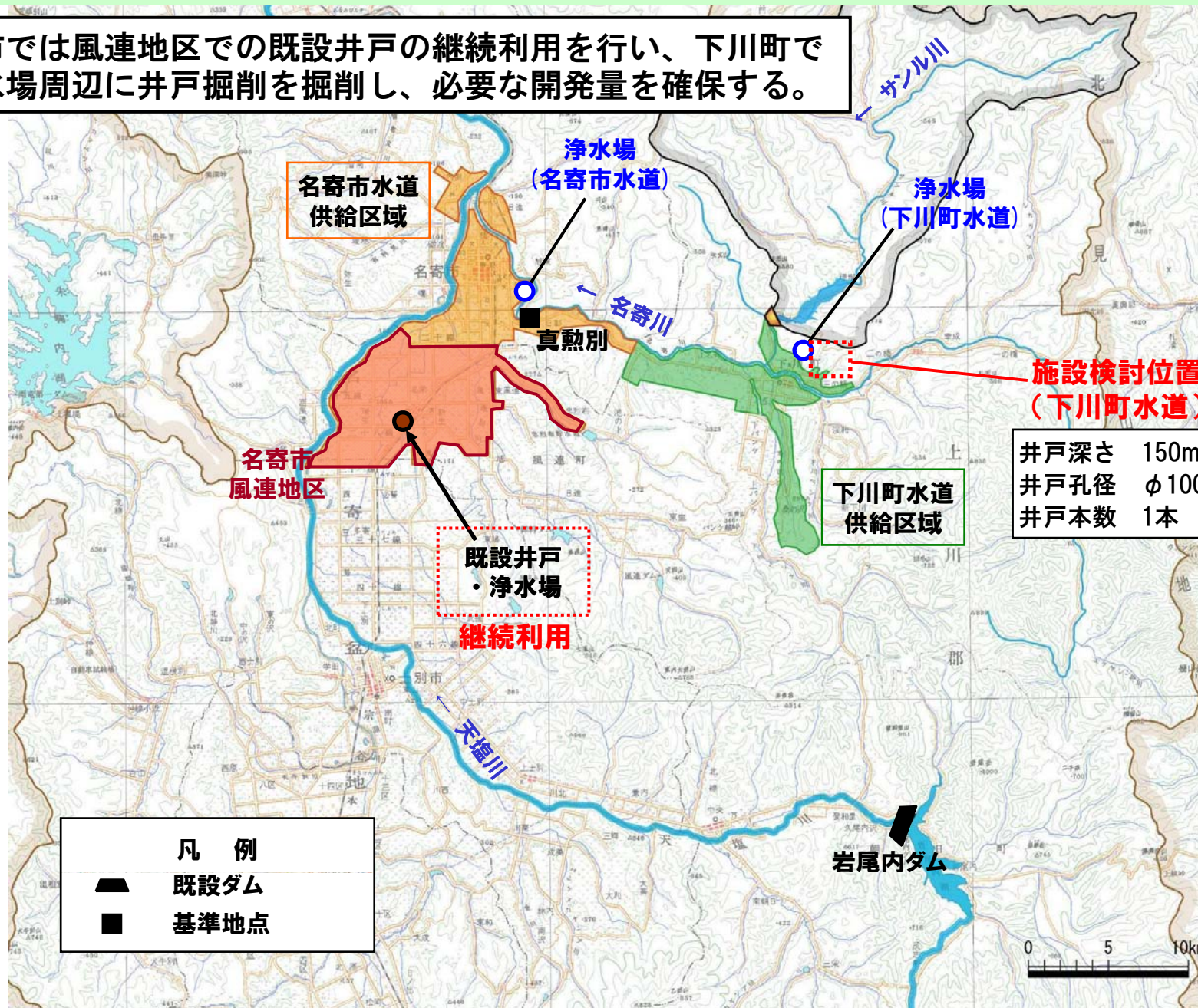
▲ 既設ダム

■ 基準地点



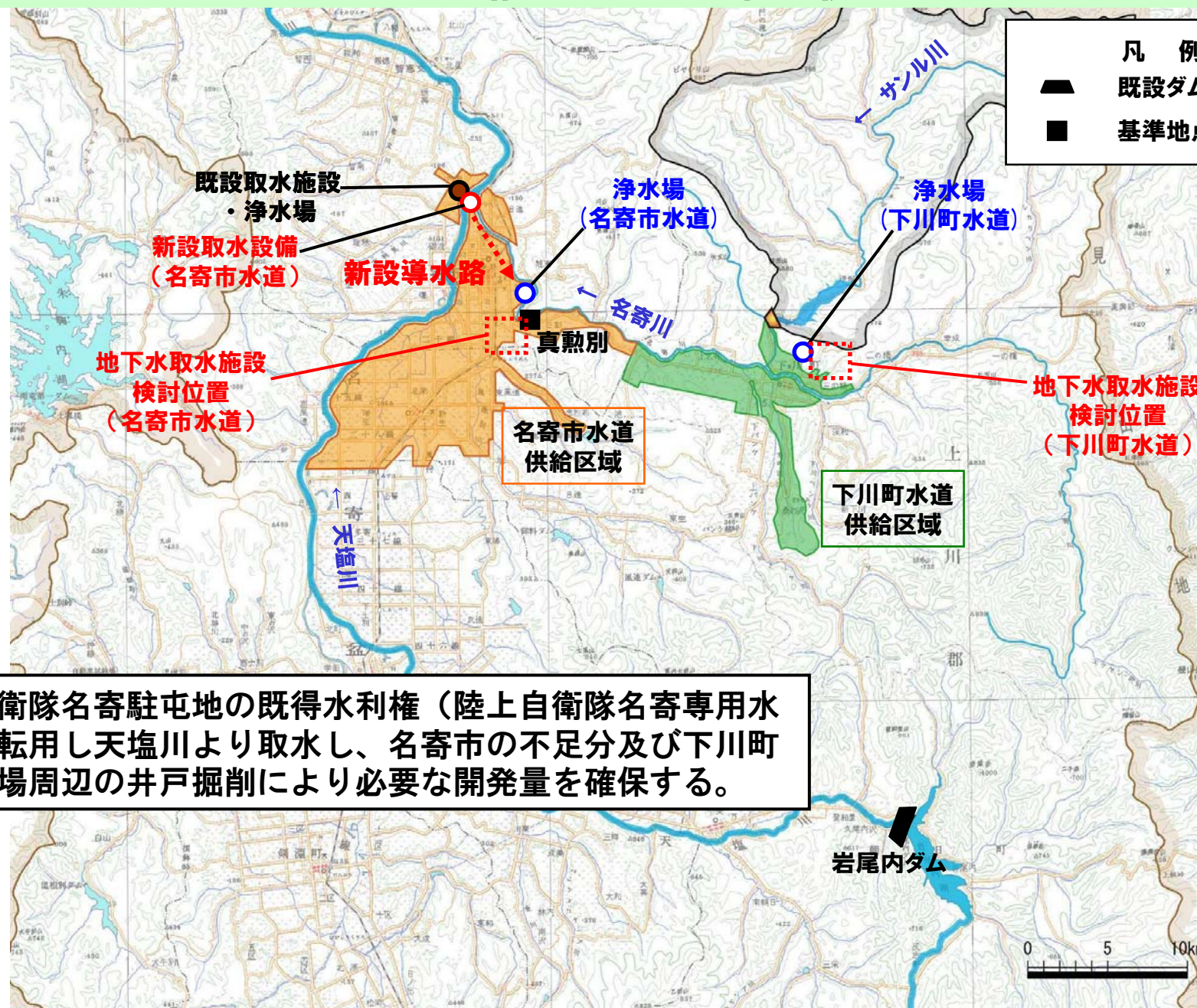
新規利水対策案の概要 地下水取水(既設井戸継続)

名寄市では風連地区での既設井戸の継続利用を行い、下川町では浄水場周辺に井戸掘削を掘削し、必要な開発量を確保する。



新規利水対策案の概要

既得水利権の転用＋地下水取水



陸上自衛隊名寄駐屯地の既得水利権（陸上自衛隊名寄専用水道）を転用し天塩川より取水し、名寄市の不足分及び下川町は浄水場周辺の井戸掘削により必要な開発量を確保する。